

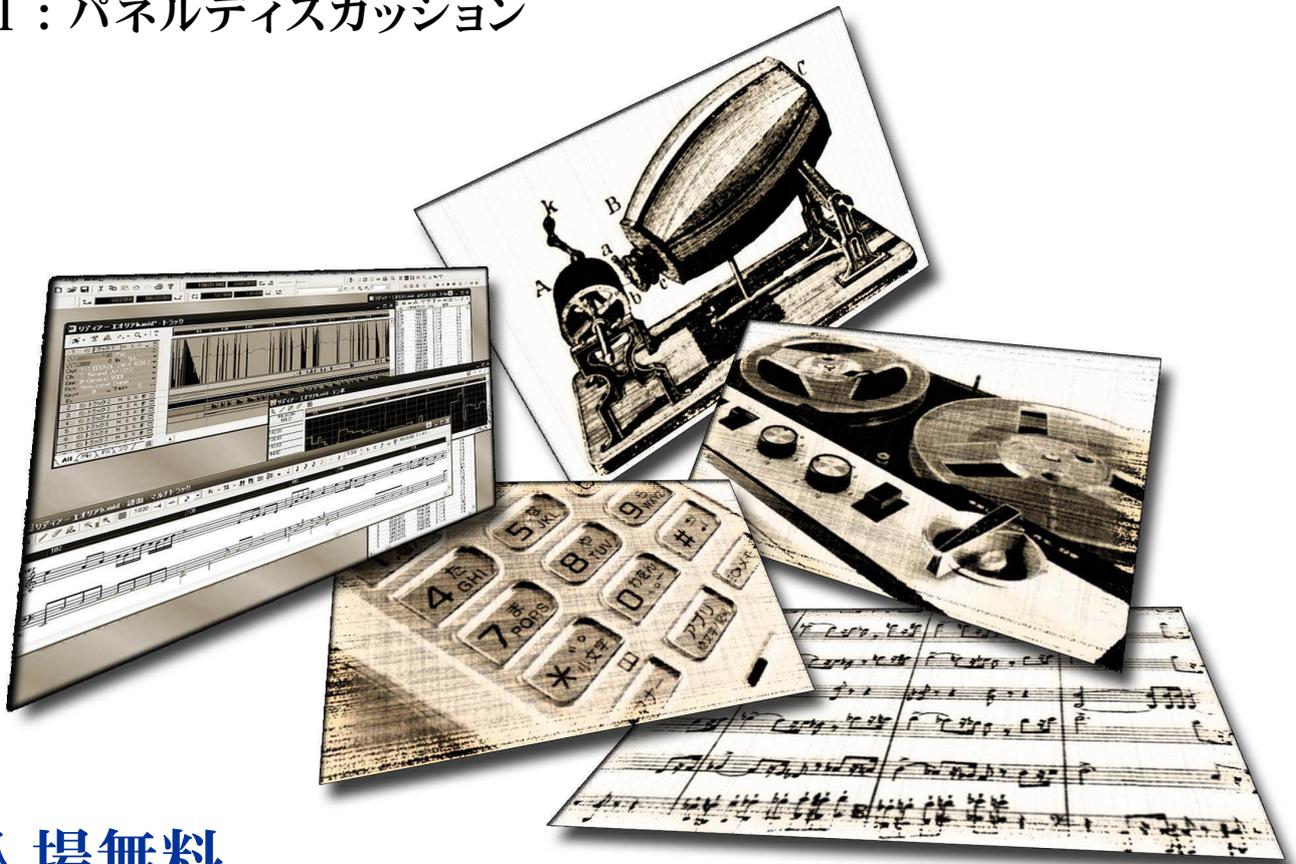
— 「参照の時代」の音楽文化をめぐって —

『ネットワーク・ミュージッキング』 出版記念シンポジウム

プログラム

I : 基調講演「モノとしての音楽・情報としての音楽」

II : パネルディスカッション



入場無料

鹿児島国際大学 図書館4階 視聴覚ホール

2009年12月5日(土) 10時30分開始 (12時30分終了予定)

著者・基調講演

◆鹿児島国際大学 講師 (福祉社会学部)

井手口彰典 IDEGUCHI Akinori

司会

◆鹿児島国際大学 教授 (国際文化学部)

小林潤司 KOBAYASHI Junji

パネリスト

◆鹿児島大学 准教授 (法文学部)

井原慶一郎 IHARA Keiichiro

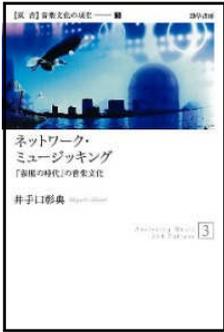
◆イラストレーター

大寺聡 OHTERA Satoshi

◆作編曲家

平田みずほ HIRATA Mizuho

後援：鹿児島国際大学現代社会学会



『ネットワーク・ミュージッキング：「参照の時代」の音楽文化』

井手口彰典 著 勁草書房 2009年8月 (2,600円＋税)

音楽と聴衆の媒介作用〈メディアーション〉に焦点をあてるポピュラー音楽研究の新潮流。脱「モノ」化する世界の音楽実践、「ネットワーク・ミュージッキング」とは。音楽に対する欲望の変質を、社会と技術の相互作用を焦点に描き出す。

— 本書帯より —

登壇者紹介

スクールバス運行表

坂之上発	坂之上駅 JR 上り	坂之上駅 JR 下り	大学発	
9:20	9:12			
9:30		9:20		
9:40	9:30			
9:50		9:44		
10:00	9:52			
10:20	10:11			
10:30		10:19		
~~~~~				
	12:48			12:30
	13:14	13:02		12:50
		13:38		13:00
	13:46	13:58		13:35
	14:20			14:00
		14:29		14:10
	14:53	14:46		14:35
	15:16			14:55
		15:24	15:10	



### 井手口彰典 IDEGUCHI Akinori

鹿児島国際大学福祉社会学部講師。大阪大学大学院博士後期課程修了、博士(文学)。専門は音楽社会学、とりわけ情報テクノロジーの発達が音楽聴取体験に及ぼす影響について。また、いわゆる「オタク系」文化における音楽実践について。



### 小林潤司 KOBAYASHI Junji

大阪府に生まれる。大学時代はSF同好会と軽音楽部に所属。ロックバンドで、作詞、作曲、ヴォーカル、ギター、キーボードなどを担当。レンタルCDショップ店員などを経て、現在、本学国際文化学部教授。専攻はイギリス文学。



### 井原慶一郎 IHARA Keiichiro

鹿児島大学法文学部准教授。専門は表象文化論。論文に「グレン・グールド論／音楽とメディア」(2001年)、共訳書にアン・フリードバーグ著『ウィンドウ・ショッピング／映画とポストモダン』(松柏社、2008年)がある。



### 大寺聡 OHTERA Satoshi

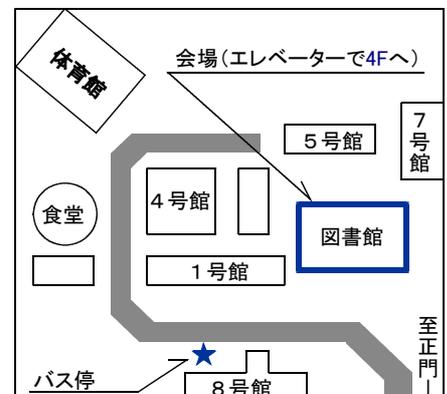
1990年武蔵野美術大学デザイン学科卒業。2000年に活動拠点を東京から鹿児島に移す。音楽／映画鑑賞が趣味で、JBL 4344MK2をメインに据えた7.1chのシステムを構築。ジャズを中心にCDは約4000枚を所有。iTunesで管理された楽曲やPodcastはAirMacExpress経由で聴くことも。



### 平田みずほ HIRATA Mizuho

LEAD、アイドルリング!!!、Charaなどのアーティストに楽曲提供、CM音楽制作、そしてNBA、世界バスケット等のイベント音楽演出も数多く手がける作編曲家、そしてベーシスト。自身の音楽ユニット、モノフォリオとしても活動中。

## キャンパスマップ



## 問い合わせ先

099-263-0557 (井手口研究室直通)

ideguchi@soc.iuk.ac.jp